

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・技術課

担当課長名：東川 直正

事業名 一般国道497号 <small>まつうら さざ</small> 松浦佐々道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局																													
起終点 自：長崎県松浦市志佐町浦免 <small>まつうらしし さちょうらめん</small> 至：長崎県北松浦郡佐々町沖田免 <small>きたまつうらぐん さざちょうおきためん</small>	延長 19.1km																														
事業概要 松浦佐々道路は、西九州自動車道の一部を構成し、九州北西部地域の地域経済の活性化、高速定時性の確保等に寄与するとともに、北松地域の唯一の幹線道路である国道204号の代替機能確保を目的とした事業である。																															
H26年度事業化	H25年度都市計画決定 (H一年度変更)	H27年度用地着手 H28年度工事着手																													
全体事業費	約797億円	事業進捗率 約9%																													
	(平成30年3月末時点)	供用済延長 0.0km																													
計画交通量 10,100～13,500台/日																															
費用対効果分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">B/C</td> <td style="width: 15%;">(事業全体)</td> <td style="width: 15%;">1.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業)</td> <td>1.5</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.3		(残事業)	1.5	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">総費用</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="width: 15%;">608/712億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(事業費)</td> <td>565/669億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(維持管理費)</td> <td>43/43億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)	608/712億円		(事業費)	565/669億円		(維持管理費)	43/43億円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">総便益</td> <td style="width: 15%;">(残事業)/(事業全体)</td> <td style="width: 15%;">919/919億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(走行時間短縮便益)</td> <td>780/780億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(走行経費減少便益)</td> <td>97/97億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(交通事故減少便益)</td> <td>42/42億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)	919/919億円		(走行時間短縮便益)	780/780億円		(走行経費減少便益)	97/97億円		(交通事故減少便益)	42/42億円	基準年 平成30年
B/C	(事業全体)	1.3																													
	(残事業)	1.5																													
総費用	(残事業)/(事業全体)	608/712億円																													
	(事業費)	565/669億円																													
	(維持管理費)	43/43億円																													
総便益	(残事業)/(事業全体)	919/919億円																													
	(走行時間短縮便益)	780/780億円																													
	(走行経費減少便益)	97/97億円																													
	(交通事故減少便益)	42/42億円																													
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.2～1.4（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.2～1.4（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.4（事業期間±20%）																															
【残事業】交通量：B/C=1.4～1.6（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.4～1.7（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.4～1.6（事業期間±20%）																															
事業の効果等																															
①防災機能の強化 ・沿線は「北松地すべり地帯」と称され土砂災害等への不安も大きい。災害リスクを回避する幹線道路が確保されることで救助・救援活動、広域的な緊急物資の輸送といった防災機能の強化が期待される。																															
②生活利便性の向上 ・沿線各都市の所要時間が短縮。例えば平戸市では、第3次医療施設（佐世保市立総合病院）までの救急搬送時間が短縮されるなど、日常生活の安心感の向上が期待される。																															
③交流機会の拡大 ・佐世保市～平戸市～松浦市のアクセス性の向上により、各地が繋がり周遊する広域ルートが形成。また、平戸市から福岡市まで2時間圏内となり、観光面や物流面で大きな効果が期待される。																															
④生活環境の改善 ・自動車の走行性向上による環境への影響低減（CO ₂ , NO ₂ , SPM削減）																															
関係する地方公共団体等の意見 平戸市をはじめとする8市4町で構成される①西九州自動車道建設促進期成会（会長：伊万里市長）や、松浦市をはじめとする3市1町で構成される②西九州自動車道建設促進協議会（会長：松浦市議会西九州自動車道整備促進特別委員会委員長）等により早期整備の要望を受けている。（①平成30年8月、②平成30年8月）																															
県の意見： 一般国道497号である西九州自動車道は、九州西北部の主要都市間の連携強化・一体化を促し、地域経済の発展、活性化に大きく貢献する重要な幹線道路となっています。 このうち、事業中区間は、県北地域の農水産物等の輸送コストの削減、工業団地への企業進出に伴う新たな雇用の拡大、福岡方面からのアクセス時間の短縮に伴う観光客の増加など、さまざまな効果が期待される道路であり、その完成に大きな期待を寄せているところです。 このような状況であることから、「対応方針（原案）」のとおり事業を継続し、1日も早い全線完成に向けて取り組んでいただきますようお願いいたします。																															

